

絆

vol.6 2020.1

通信 春

県政報告

KIZUNA

三重県議会議員 **木津直樹**
伊賀市選出 自由民主党県議団



社会基盤の充実で地域社会に大きな実りを

令和2年の初春を迎え心よりお喜び申し上げますとともに、平素より格別のご指導とご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

令和1年度は防災県土整備企業常任委員長を拝命し、危機管理・防災対策、公共土木施設の整備・維持管理・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院を除く）の運営などを中心に議会活動を行っています。

さて、ふるさと伊賀市に於いては特に少

子高齢化が進み、人口減少対策が急務となると同時にインフラ整備の遅れも著しく、将来に向けて社会基盤整備の充実を図らなければなりません。

これからも国や市との連携を深めながら、諸課題に全力で取り組み地域社会に大きな実りをもたらすよう活動してまいりますので皆様のご指導よろしくお願い申し上げます。

木津直樹プロフィール

昭和34年10月30日生まれ 60歳
平成15年4月 阿山町議会議員
平成17年3月 伊賀市議会議員
平成27年4月 三重県議会議員
平成31年4月 同上2期目当選
令和1年度 主な役職
防災県土整備企業常任委員会・委員長
三重県議会防衛防災議員連盟・幹事長

◀ 令和1年10月28日の予算決算常任委員会で総括質疑を行い、鈴木英敬知事に対して「未来に夢と希望の持てる予算編成を」と要請しました。詳細は別面に掲載してあります。



調査報告

木津直樹が委員長を務める三重県議会防災県土整備企業常任委員会は昨年8月8、9両日に県内調査を、同月27日から29日まで県外調査を実施しました。その概要を写真でお知らせします。

県外調査



国土交通省(東京都千代田区)

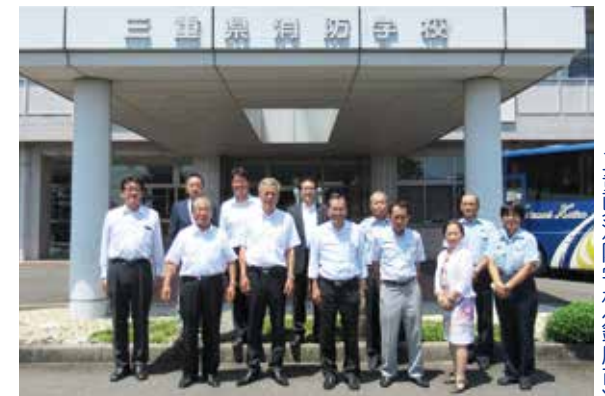


防災科学技術研究所(茨城県つくば市)



鬼怒川堤防決壊現場(茨城県常総市)

県内調査



三重県消防学校(鈴鹿市)



川上ダム建設現場(伊賀市)

白線塗り直しが進んでいます

TOPIC



木津直樹の決算総括質疑

(令和1年定例会 10月28日)



令和1・2両年度の 取り組みなどただす

木津直樹は昨年10月28日に開かれた三重県議会予算決算常任委員会で一般会計・各特別会計決算認定議案にかかる総括質疑を行い、①中小企業・小規模企業の振興②防災・減災の促進③令和2年度の予算編成などに関して県の考えをただしました。おもな質疑応答をご紹介します。

1. 中小企業・小規模企業の振興を 事業承継支援の具体策は

Q 県内の中小企業の経営者、とくに小規模事業者は事業承継が遅れている。理由は情報が乏しいということだ。今後、より一層の情報提供が望まれるが、令和1年度の成果を次年度にどう反映させ、取り組んでいくのかを問う。

A **雇用経済部長** 平成30年に三重県事業承継支援方針を策定し、県事業承継ネットワークを中心に具体的な取り組みを進めている。事業承継診断も当初の目標を上回る実施件数になっているが、事業承継には

時間がかかるため、転職サイトを運営するビズリーチと県内金融機関との連携を進め、事業承継に関する包括協定を締結、セミナーなどを通じて周知に努めている。国においても個人事業主にまで相続税・贈与税の実質的免除や納税猶予をする制度がスタートした。そういった国や県の施策を周知するための取り組みを具体的に進めたいと考えている。

2. 大規模災害や不慮の事故に備えて 事前の防災・減災が必要

Q 今月発生した台風19号の農業被害は1,000億円を超えるといわれるが、商工業にも甚大な被害があったと見られている。大規模な災害や経営者の不慮の事故は事業継続に大きな打撃を及ぼし、その影響は被災企業のみならずサプライチェーン全体に及ぶが、そうした影響を最小限におさめるためには、災害や事故に遭遇する前に事前の備えが必要だ。中小企業・小規模企業の防災・減災の取り組みについて問う。

A **雇用経済部長** 商工会、商工会議所、中小企業団体中央会が、県と包括協定を締結している損害保険会社と連携したセミナーを開催し、普及啓発を行っている。また

今年7月には、中小企業強靱化法が施行された。商工会、商工会議所と市町が共同で小規模企業の防災・減災対策を支援する計画を策定し、県がそれを認定する制度と、従来の事業継続計画BCPよりも企業が取り組みやすくなった事業継続力強化計画認定制度も制定され、二本立ての取り組みが始まっている。

3. 地方創生を担う若者たちのために 夢と希望が持てる予算を

Q 中小企業と小規模企業は県内企業の99.8%を占める。小規模事業者とは、商業・サービス業では5人以下、製造業では20人以下とされているが、小規模事業者の後継者たちは業界の青年部や消防団など地域でさまざまに活動しており、三重県の地方創生を担ってゆく若者たちだといえる。令和2年度の予算編成においては、一人も取り残されず、未来に夢と希望の持てる予算編成をお願いしたい。全国知事会で地方創生対策本部長を務める知事の考えを聞きたい。



A **知事** 全国知事会では去年、「事業承継なくして地方創生なし」という観点から、私が発案して提言を取りまとめた。各県で進められた事業承継の良い取り組みを全部集め、それを共有する取り組みも進めた。中小企業を振興するには、ご指摘いただいたように地域創生を担う若者たちがこれから活躍していくため、経営基盤の安定が不可欠になる。そのための振興施策をこれからもしっかり進めたい。

| 伊賀建設事務所 | | |
|-----------------------------|-----------|---------|
| 令和1年度 公共事業実施予定箇所(抜粋) | | |
| 路河川名 | 大字等 | 事業費 |
| 道路改築事業 | | |
| 一般国道368号(伊賀名張拡幅) | 守田町~蔵持町原出 | 420,000 |
| 主要地方道青山美杉線 | 高尾 | 46,002 |
| 主要地方道上野大山田線 | 蓮池~喰代 | 57,750 |
| 主要地方道松阪青山線 | 霧生 | 21,000 |
| 一般県道蔵持霧生線 | 高尾~霧生 | 10,500 |
| 一般県道種生奥鹿野線 | 老川 | 42,000 |
| 一般県道観音菩提寺線 | 島ヶ原 | 105,000 |
| 一般県道上友田円徳院線 | 上友田~中友田 | 22,682 |
| 橋梁耐震対策事業 | | |
| 一般国道165号(新羽根橋) | 青山羽根 | 21,000 |
| 主要地方道伊賀青山線(広瀬橋) | 川北 | 15,750 |
| 主要地方道伊賀青山線(山神橋) | 奥馬野 | 15,750 |
| 一般国道25号(五月橋) | 治田 | 232,613 |
| 一般県道信楽上野線(新服部橋) | 平野清水町~服部町 | 735,000 |
| 一般県道関大山田滝線(平松橋) | 上阿波 | 10,500 |
| 一般国道163号(大橋) | 下阿波 | 21,000 |
| 一般国道163号(高良城橋) | 上阿波 | 20,000 |
| 交通安全事業 | | |
| 主要地方道甲南阿山伊賀線 | 田中~川合 | 39,900 |
| 一般県道伊賀甲南線 | 下柘植 | 10,500 |
| 一般県道信楽上野線 | 千歳 | 10,500 |
| 一般県道河合丸柱線 | 石川 | 5,907 |
| 舗装修繕事業 | | |
| 一般国道165号 | 伊勢路 | 21,000 |
| 河川改修事業 | | |
| 一級河川木津川 | 下神戸~比土 | 148,500 |
| 一級河川木津川 | 大内~阿保 | 40,538 |
| 一級河川柘植川 | 御代 | 10,275 |
| 一級河川久米川 | 友生 | 10,275 |
| 一級河川河合川 | 円徳院~川合 | 20,550 |
| 一級河川浅子川 | 三田 | 10,275 |
| 砂防事業 | | |
| 奥谷1 | 猿野 | 31,500 |
| 石谷の1 | 中村 | 30,000 |
| 急傾斜地崩壊対策事業 | | |
| 奥馬野地区 | 奥馬野 | 31,420 |
| 街路事業 | | |
| 服部橋新都市線 | 上野緑ヶ丘西町 | 658,394 |
| *詳しくは三重県のホームページをご覧ください。(千円) | | |

| 伊賀農林事務所 | | |
|-----------------------------|-----|--------|
| 令和1年度 公共事業実施予定箇所(抜粋) | | |
| 地区名 | 大字等 | 事業費 |
| 農業集落排水整備促進事業 | | |
| 伊賀市1期 | 島ヶ原 | 70,000 |
| 保安林改良事業 | | |
| 田代 | 山畑 | 32,900 |
| 保育事業 | | |
| 布引 | 奥馬野 | 2,601 |
| 機能強化・老朽化対策事業 | | |
| 下馬野ほか | 奥馬野 | 27,536 |
| *詳しくは三重県のホームページをご覧ください。(千円) | | |